

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	良くなる やや良くなる	－	－
		百貨店（営業企画）	・現状は厳しいが、秋に向けてのフロアの一部改装もあり、計画的な改装前の売りつくしセールや改装オープンに向けた企画等でやや良くなると見込む。
		コンビニ（経営者）	・高齢者が付近に多くおり、手近なコンビニである当店で買物をする人が増えている。
		ゴルフ場（経営者）	・当方では集客のためのイベントを抱えており、来客数は増加するであろうとみている。
		住宅販売会社（総務・企画分野）	・2、3か月先は、当地では旧盆明けにあたる。住宅購入については旧盆で、親族等に相談することがあると考えられ、判断基準がある程度揃い、受注件数は上向きになると考える。旧盆明けという時期的要因もあるが、商談が活発化する時期ではあると考え、やや良くなると判断する。
		住宅販売会社（代表取締役）	・建築相談が増えているように感じられるため、順調な建築受注が見込める。
	変わらない	スーパー（販売企画担当）	・自社での新規出店が無い限り、しばらくは厳しい状況が続くとみる。
		コンビニ（経営者）	・来客数が前年比110%で伸びており、それを維持して好調に推移するとみている。
		コンビニ（エリア担当）	・7月下旬でたばこの安定供給から1年経過しており、たばこ購入客の減少が来店客減少の一因となっているが、7、8月は暑くなるため飲料、アイスを中心に売上は期待できる。それでも売上は前年比2%前後ダウンが見込まれる。
		コンビニ（エリア担当）	・現在、沖縄県の景気は安定しており、大きく上ぶれ、下ぶれは考えづらい。しばらくは安定した状況が続くと判断する。
		衣料品専門店（経営者）	・今月はほとんどの店でセールが始まっているが、客の反応は今一つで、売上の前年比でも変化が無く、これからもこの状況に変化があるとは見込めない。
		家電量販店（総務担当）	・テレビの特需の反動は今月で終了するが、テレビそのものの販売単価は4年前の半分しかない。これは販売量が戻っても売上は半分しかないということで、この後も楽観視できない。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・夏休みに入り販売量は幾分上がったものの、前年を上回る程ではなく、この時期にこれだけの販売量ならばこの先良くなることを期待できない。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・今のところ予約状況は好調で、おおむね今月の状況から大きく変わらないことが予測される。夏休み旅行は、円高による海外方面との競合や、スカイツリー開業による東京地区と競合すると予測されたが、大きく影響は受けていない状況である。
	観光名所（職員）	・現在のところ予約数の伸びが若干悪い。円高の影響もある。国内では関東地区は北海道、西日本地区は東京スカイツリーや関東の大型テーマパーク方面への販売が良いと旅行代理店より聞いている。	
やや悪くなる	その他専門店〔楽器〕（経営者）	・例年恒例の夏祭りイベントが延期になり、イベントの動員数が少し減少する。しかし、外国人観光客が毎年増加傾向であり、外国人の沖縄観光も徐々に定着しそうである。一括交付金等によって観光客へのイベントや企画も増加すると期待され、少しずつ景気も上向きそうである。	
	通信会社（店長）	・最近の傾向から、好調は長く続かないので年末商戦までは落ち着くと推測する。	
悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街のエリアは観光客が少しずつ増えているものの、消費者の財布のひもが固くてなかなか売上増加までは至らない状況である。今月から夏休みに入るため少しだけ期待感はあるが、様々な面で危機感が募っている。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・現状、食べ飲み放題は一律低価格がエスカレートし、利益率が悪くなっている。その上、平日の地元客の入客不足と、飲食の求人が思うように採れないことに伴う時給の上昇による経費増と、非常に厳しい状況が続いている。	
企業 動向 関連 (沖縄)	良くなる やや良くなる	－	－
		食料品製造業（管理部門）	・中元ギフト及び、夏休みに入りバーベキュー等の催事需要が増える見込みである。
		広告代理店（営業担当）	・一括交付金を活用したソフト事業の恩恵による特需効果があるが、効果の継続性をどのように高めることができるのかが問われている。

変わらない	窯業・土石製品製造業 (経営者)	・公共、民間共に横ばいの見通しである。	
	輸送業(代表者)	・伊良部架橋建設や新石垣空港建設等の大型物件は終わりを迎えるが、周辺工事や農業整備関連で、今年度に大きな変動は無い。	
	通信業(営業担当)	・案件の確保は以前に比べて容易であるが、景気に影響するようなブーム的な案件はない。	
	会計事務所(所長)	・東日本大震災の影響はほぼ無くなっていると考えられるが、消費者の低価格志向は根強く、今後も継続していくとみる。	
	コピーサービス業(営業担当)	・失業後に、まだ就職できていない元同僚も何名かおり、全然景気は変わらない。	
やや悪くなる	建設業(経営者)	・現在、住宅の引き合い件数及び見込み客数の減少傾向がみられる。	
	輸送業(本社事業本部)	・繁忙期を過ぎ、夏の季節商材から秋、冬への商品に変更していくことで取扱量減少の可能性はある。その他、受注量を増加させる要素は今のところ無い。	
悪くなる	—	—	
雇用 関連 (沖縄)	良くなる	—	
	やや良くなる	人材派遣会社(総務担当)	・県内への拠点移動による企業の求人意欲は、堅調に推移している。また、新規オープンのホテル等及びIT関連企業を中心にこれからも求人増が期待できる。
		求人情報誌製作会社(営業担当)	・少しずつ周りの求人数が増えている。
	変わらない	○	○
	やや悪くなる	学校[専門学校](就職担当)	・次から次へと問題が浮上してきているなか、一番に政治の不安定さが心配である。
悪くなる	—	—	